

建設防災 ボランティアニュース 第68号

目次

- ・ 平成 30 年度定期総会
- ・ 第1回リーダー会
- ・ 道路施設等点検始まる
- ・ 新規会員の挨拶

平成 30 年度定期総会開催！！

7月4日（水）午後3時30分から、東京都道路整備保全公社A・B会議室において、平成30年度定期総会が、会員78名の参加のもと開催されました。

冒頭、杉浦会長は、「協会活動も21年目を迎え、長年の活動は高く評価されており、会員の積極的な活動参加に改めてお礼を申し上げます。先の大阪府北部地震では市街地の脆弱性が改めて問われました。非科学的で不謹慎な言い方かもしれませんが、この20年で阪神・淡路、中越、東日本、熊本、大阪と大きな地震が続き、東京に来ないの不思議と考えざるを得ない。こうした中、地震予知の技術が確立されているとは言えない現状で重要なのは、日頃の心構えと発災した時の適切な対応に尽きます。年1回のこの総会はそれを確認する場にしたい。また8名の新会員を迎え、新たな息吹が組織を活性化させ、大きな力となることを期待しています。」との挨拶がありました。



続いて来賓の方々から、ご挨拶をいただきました。その一部を紹介します。

●西倉東京都技監（建設局長兼務）



協会には年間を通して様々な場面で局職員と共に活動し、それぞれの現場や事務所で助言、指導等を戴き心より感謝するとともに、

建設局という組織が先輩方に側面から支えて頂いていることを実感しています。昨年10月の台風では都内14か所の調節池で56万 m^3 を取水するなどして浸水被害がほとんどなく、先輩方の四半世紀の施設整備の成果が存分に発揮されたものと考えます。小池知事も先日は技術会議に出席されるなど、土木を中心に技術への関心を高め、建設局事業にも広く関心を持たれています。今後も膨大な都市インフラの整備を進めていく必要があります。会員の方々の知見や経験をお借りして、諸先輩方から受け継いだバトンを繋ぎ、必ずや発生する災害への対応を進めて参ります。

●浅川東京都道路整備保全公社理事長

皆様方の様々な活動は、現役時代に培われたノウハウを社会に役立てていくために、建設防災ボランティア協会という仕組みを作ってOBの力をまとめ上げるという、伝統ある建設局の知恵であり、責任感と自負の賜物と思います。公社とは、平成17年から勝鬨橋ミニツアーを実施し、合計8861人の見学者を案内してきました。そして勝鬨橋の長寿命化工事でミニツアーが2年間中止となり、新たに「隅田川著名橋等ツ



アー」を実施して頂くことになりました。早速に素晴らしいガイドブックとマップを作成し、6月から一般都民を案内し、7月は15名の定員に281名の応募があるという人気ツアーで、ご協力に心から感謝します。今後とも、公社と協会がさらに連携していきたいのでよろしくをお願いします。

●佐野東京都公園協会理事長



(五十嵐常務理事代読)

日頃の会員の活動に対し改めて敬意を表し、また公園協会へのご支援に感謝します。

都立公園は避難場所や大規模救出救助活動の拠点として、水上バスは帰宅困難者や救援物資の輸送手段として重要です。公園協会も都立公園の指定管理者として、また水上バスや河川・水辺保全業務の事業者として、蓄積してきた知識と技術を発揮し、関係団体との連携、実践的な訓練に力を注いできました。これまでも防災訓練、初動対応訓練など皆さんと一緒に取り組んできました。都民の安心安全を守るため、今後とも職員の能力の向上を図り、ボランティア協会との連携を密にして、災害時の備えを十分に図るよう取組んで参ります。

来賓挨拶の後、早速藤田理事の進行で伊藤精美さんを議長に選出し、議事に入りました。

まず、平成29年度事業報告を野村理事が、同収支決算報告を萩原理事が説明し、堀内監事が会計監査報告を行いました。質疑では、保全公社と公園協会からの助成金の詳細についての質問、今年度から開始した隅田川著名橋等ツアーの新たな協定と手続きについての意見がありました。ご理解をいただき、一括して拍手により原案どおり承認されました。

続く平成30年度事業計画(案)を新井副会長が、これに伴う収支予算(案)を萩原理事が説明しました。質疑では、被服を早い時期に配付して欲しいとの意見、新しく始まった隅田川

著名橋等案内ツアーの案内方法、お客様の状況等についての質問、ボランティアニュースがマンネリ化しているので改善をとの意見、各事務所班の人数のばらつきに関する質問等があり、熱心な議論が行われましたが、これも満場一致で原案どおり承認されました。



議事終了後、公社と協会の事務局の紹介、会長による今年度のリーダーとサブリーダーへの委嘱状の手交、協会に貢献されてきた方々の顕彰、新入会員8名の紹介、挨拶等が行われ、予定された全ての議題を終えました。

#ありがとうございました!

今年度特に協会活動に貢献された下記の会員に会長から感謝状が贈呈されました。(敬称略)

- 年間10回以上活動会員()内活動回数
池田繁敏(17)、中込孝仁(14)、船山吉久(13)、
荒井一朗、藤井賢介(以上12)、
長島修一、吉田安輝、舛原邦明(以上11)、
柿塚至、望月裕、丸山勝彦、小山完治、
林健一郎、川合康文(以上10)
- リーダー交代者
二建サブリーダー 船山吉久
六建リーダー 遠藤俊夫
六建サブリーダー 浅田光昭
- 20年継続会員
織田和俊、熊谷武志、小柴昌幸、武内利夫
- 15年継続会員
小島信之、小山幸也、篠原憲一、高橋好弘、
戸張好一、中山功、堀内康彦、堀中逸、湯本勝

● 10年継続会員

海老沢義秀、新川彰、林健一郎、藤井健介、
藤田進

総会終了後 74 名の方々が、場所を都庁第二本庁舎 4 階食堂に移し懇親会を行いました。佐野理事の進行により、杉浦会長の挨拶、柿塚顧問の乾杯で始まり、途中、石坂、清水、須藤、東野の各新入会員の挨拶等もあり、大いに盛り上がりました。昔話や互いの近況を語るなど楽しい時間を過ごしましたが時間となり、20 年の長きにわたって協会活動に活躍されてきた小柴さんの締めでお開きとなりました。



賑やかな懇談風景



20年継続会員の熊谷さんと小柴さん

広報担当理事 林幹生

#総会に参加し、思いも新たに！

本年3月に都を退職し、東京都建設防災ボランティア協会の一員に加えていただきました東野です。若造ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

去る7月4日に新宿で開催された定期総会に参加しましたので、報告をさせていただくとともに、感想など申し述べさせていただきます。

総会では杉浦会長の挨拶に引き続き、来賓からご挨拶をいただく中、西倉鉄也東京都技監のご挨拶を紹介します。最近の都政の課題などお

話しは多岐に亘りました。特に印象に残ったのは、必ず起こると言われている首都直下地震の被害額が 730 兆円を越えるという想定もある中で、インフラの整備改修により 200 兆円以上の被害が軽減されるという試算があるというお話です。200 兆円分のインフラを整備するのはとてつもない費用と労力、時間を要します。ましてや、造り直しとなれば大量の廃棄物の発生は避けられませんし、土地利用が進み作業空間の確保もままならない中で、施工の段取りにも想像を超えて手間がかかるはずです。現在都が行っている都市基盤の整備や耐震補強の事業がいかに意義あるものか、改めて強く感じました。

会議では、前年度事業の報告や今年度事業計画が承認、決定されました。質疑応答も活発に行われ、はじめて参加した私にも当協会は会員の意識が高い、生きた元気な団体なのだとよくわかりました。

今回の総会の資料として添付された、平成9年、当協会発足当時の建設局の資料を見ますと、大規模震災の初期段階において、土木施設の整備や管理において専門的ノウハウを有するボランティアの協力により、公共土木施設の被害状況の迅速な把握や適切な応急復旧等を図ると、協会の活動の目的が明解に示されています。

折しも、梅雨前線の影響で7月6日から降り続けた記録的豪雨により、広島県や岡山県を中心に、河川の溢水や土砂災害で多大な被害を受け、10日現在で死者126人、安否不明者80人超と報道されており、まだ被害の全容も明らかになっていない状況です。多くの方々の安否が心配であると同時に、東京の防災に果たすべき役割を思うと身が引き締まる思いです。

3月までは現役の都職員として、防災ボランティア協会の皆さまに助けをいただく立場でしたが、メンバーに加えていただいた今日からは、先輩諸氏のご指導を受け、同時に入会した仲間とともに、「老いたりとも腕に覚えのある者」の一人として、少しでも都民の防災のお

役に立ちたいと思っております。

西建班 東野寛

第1回リーダー会議開かれる

30年度第1回リーダー会議が7月11日午後、道路整備保全公社大会議室において開かれました。これは、1週間前の第22回定期総会で承認された事業計画に基づき、本年度事業を円滑に進めるために協会役員と各事務所リーダーの方々との意思疎通や意見交換等を図るために行なわれたものです。



会議は佐藤理事の司会進行のもとで始まり、最初に杉浦会長から「大阪北部地震や西日本豪雨など各地で災害が発生している。本協会は地震と土砂災害への支援事業を行うこととしているので、災害発生には十分に警戒をしてほしい。本日は総会で決定した各事業計画を含め各理事から説明し、皆さんとのコミュニケーションを図っていききたい。リーダーの皆さんにはこの一年の協会活動の円滑な実施を支えてほしい」との挨拶がありました。

議事に入る前に総会に出席できなかったリーダーに対し会長から委嘱状が渡されました。

議題は 1)30年度の事業予定、2)河川愛護月間行事の支援、3)総合防災訓練などの日程、4)その他でありました。

1)30年度の事業予定については、二宮副会長が本年度の各事業について実施月ごとにその概要、担当役員などを説明しました。

次に2)河川愛護月間行事の支援については、高橋理事から川を歩こう、川のパネル展、夏休み多摩川教室、かわフェスタ及び東京の川を考えるシンポジウムについて説明がありました。そして一

部の行事では実施済みものもあるが、会員の協力で予定人員の確保ができたことを報告し、引き続き各事業への協力を依頼しました。

3) 総合防災訓練などの日程については、久保田理事が総合防災訓練、初動対応訓練、道路施設点検について過去の実施時期、局からの依頼文書の通知時期などについての資料をもとに説明がありました。

本年9月2日に中央区・港区と合同で行う総合防災訓練では、未だ局からの依頼がないものの協力要請人員が多い場合は二建班などの協力をお願いします、初動対応訓練では参加者調整が年末の時期と重なることが多いが協力してほしい、道路施設点検では依頼文書の通知時期と点検開始時期との間が短い、各建設事務所補修課の担当者と調整してほしいとの説明がありました。

4) その他では二宮副会長から協会活動の参加者報告については、総会での活動感謝の実績集計に係るので遺漏・遅滞なく報告願いたい。また、各事務所班の緊急連絡網があれば連絡願いたいとの説明がありました。また広報担当の林理事からは、協会活動に加え、会員が他のボランティア活動をしていればその活動の記事や写真も寄稿してほしいとの依頼がありました。

質疑応答では、①初動対応訓練通知は12月10日前後に出してほしい②総合防災訓練の訓練項目は毎年同じか等の意見等が出されました。

最後に、佐藤理事から今年度も建設局と密接な連携を保ちながら事業を円滑に実施していきたいので、リーダーの皆さんのご協力をお願いしたいとの挨拶があり、閉会しました。

広報担当理事 丸岡敏夫

道路施設等点検始まる

●南東建班

7月4日、南東建の平成30年度第1回道路徒歩点検を実施しました。当日は、梅雨明けからの連日の暑さと打って変わり、朝から曇りがちの空模様で、前日に比べ気温も幾分下がり、こ

の時期としては絶好の点検日和の中で実行することができました。

ボランティア会員は、午前9時に事務所に参集した後、小松所長、木下補修課長とご挨拶。所長から「日頃よりボランティア活動に感謝している。水分補給等熱中症予防にも留意いただき、点検方よろしく願います。」とのご挨拶をいただき、所のバスで現場に向かいました。



点検現場は、町田市内の通称「町田街道」で、このうちAグループは、起点が滝の沢交差点から終点の中町交番前交差点までの区間、Bグループは、起点が中町交番前交差点から終点の南橋交差点までの区間と都道51号町田厚木線原町田三丁目交差点から境橋交差点までの区間の2ルートを担当しました。点検は参加ボランティアの8名（以下、敬称略。Aグループ：武内、織田、本間、佐々木。Bグループ：杉本、矢内、若尾、柴田）に、所の中曽根統括課長代理、佐藤主事、村田主事が加わり、総勢11名を2グループ4班に分けて、右側歩道、左側歩道について行いました。

現役の関係職員各位の日頃のご尽力により、決定的な問題箇所は皆無に近く、強いて挙げればといった視点からのものが殆どでした。この結果、Aグループで1か所、Bグループで5か所の合計6か所の軽微な指摘がありました。

作業開始から1時間ほどで、2ルートの点検を終了し、集合場所の中町交番の西側にある「町田シバヒロ」に集合し、ボランティア参加者全員での記念撮影を行った後、所に戻りまし

た。直ちに、小松所長、木下補修課長に無事の作業終了を報告するとともに、本日大変苦勞いただいた中曾根様、佐藤様、村田様にご挨拶し、11時頃、帰路につきました。

途中、有志による昼食懇親会をいつもの場所で開催。午後3時からの総会に参加するメンバーのことも考慮し、軽めにとすることでスタートしましたが、結果的にはいつもと変わらぬ適量を頂き、次回に向けての気合とY氏の体調回復を祈願し、締めを行いお開きとなりました。

今回の点検に際して絶大なるご支援をいただいた小松所長はじめ補修課関係職員の皆様、大変ありがとうございました。また、ご参加いただいた南東建ボランティアの皆様、大変お疲れ様でした。

南東建班 柴田賢次

●三建班

7月18日(水)午後2時から、早稲田通り(杉並区 農芸高前交差点～井草八幡前交差点間)約700mについて、両側の歩道を中心にバリアフリー点検が実施されました。



当日は猛暑の中、三建からは大八木所長、片岡副所長、橋本管理課長をはじめとした職員の方々、建設防災ボランティア協会からは井出、加藤、望月が参加し、上下線二班に分かれて、道路の段差や勾配、視覚障がい者誘導用ブロックなどの状況について、車いすも利用して点検しました。

歩道幅員が2mにも満たない区間であり、車

いすでは超えられない段差やきつい勾配なども確認されました。

こうした点検結果を路面補修工事等に生かし、バリアフリーを十分考慮した施設整備を着実に進め、誰もが安全で使いやすい道路となるよう期待しています。

三建班 望月裕

新しい息吹です

今年度新しく会員になられた方々から御挨拶文をいただきましたので紹介します。

石坂弘司さん



石坂弘司(いしざか ひろし)です。一建、西建では、初動対応訓練や道路施設等点検、河川愛護月間行事等で大変お世話になりました。また、砂防講習会では砂防・急傾斜地をご視察頂き、ありがとうございました。現在は、保全公社で連立側道整備や人材育成体制構築等に従事しています。参集は一建で、砂防ボランティア、勝鬨橋ミニツアー(隅田川著名橋等ツアー)に登録しています。微力ですが、頑張ります。よろしくお願い致します。

須藤功次さん

4月に入会した南西建班の須藤です。河川部に勤務した折、防災ボランティア協会員の活動に触れる機会があり、「自分も退職したら都庁の現役職員と都民の橋渡しをするボランティア活動をしたいものだ。」と思っていました。



都庁退職後公園協会に8年務めました。主に、隅田川を中心とした旅客船(発災時は防災船)の運航、堤防・地下調節池の維持管理、河

川工事監督補助・土砂災害法業務等など河川の
仕事に携わってきました。旅客船は年間 300 日
運航する事情から時間的制約もあって、防災ボ
ランティアに関わる余裕がなく入会は断念し
ました。この度、道路舗装の民間会社に再就職
し、漸く宿願を果たすことが出来ました。

ボランティア経験としては自ら主体的に行
うのは防災ボランティア協会の活動が初めて
ですが、間接的には、公園協会時代に都立公園
の多種多様なボランティア団体や旅客船の「下
町リバーガイドボランティア」、隅田川テラス
の花壇ボランティア（花守さん活動）の支援業
務に従事してきました。こうした経験を防災ボ
ランティアの活動に活かしていけたらと考
えています。

入会して3ヶ月、公園協会の旅客船を使った
勝どきミニツアーや河川愛護月間の河川パネ
ル展に参加しましたが、はたから見ているのと、
自分が担うのは大違い、慣れているはずの船上
活動での質問や河川部時代に関わったパネル
展での外国人対応など冷や汗の連続で、実力不
足を痛感しています。これから様々な行事に参
加し、先輩諸氏のノウハウを学びながら、橋渡
しのできるボランティアとして成長してい
きたいものです。どうかよろしくお願
い致します。

清水孝次さん



都を退職後、東京都道路整備
保全公社に入り、土木材料試験
センター、みちづくり推進課の
勤務を経て、今年の4月からは
公益事業課で仕事をしていま
す。都が進める道路事業の PR
を目的としており、道路見学ツ
アーの企画・実施が主な業務
です。このたび協会の会員に加
えさせて頂きましたが、仕事では
ボランティア協会の皆様に、「隅
田川著名橋等ツアー」の運営
にあたり大変お世話になってい
ます。今後ともよろしくお願
い申し上げます。

東野寛さん



3月に河川部を最後に定年
退職しました東野寛です。泉
岳寺の京浜急行電鉄(株)に通
っております。当協会では、
都採用時の勤務先である西
建の担当となり、リーダーも
入都時の先輩！嬉しく思うと
ともにご縁を感じておりま
す。どうぞよろしくお願
い申し上げます。

松浦いづみさん

今年度から入会させていた
だいた松浦です。今年3月末
に六建を最後に定年退職し、
4月から(公財)東京都公園協
会水辺事業部に勤めておりま
す。先輩の皆様方、今後とも
どうぞよろしくお願
いいたします。



さて、皆様、現在、公園協会水
辺事業部では、水辺の安全・安
心の確保、水辺の賑わい創出
のための事業を行っており、
東京都建設局河川部のパート
ナーとして多様な河川・水辺
保全業務を受託していること
などをご存じでしょうか。改
めてこの場をお借りして事業
紹介させていただきます。

まず、河川 OB を中心にした
河川事業支援課(祝！発足 10
年)では、土砂災害対策支援、
河川工事監督補助を、調整課
では地下調節池管理、防災船
着場管理、暫定係留施設の管
理運営、隅田川テラスの水辺
環境保全等を、水辺ライン課
では防災船着場活用(平常時
利用)等を受託し、それぞれ
河川部と連携協力して事業を
実施しています。

また、自主事業では、水辺魅
力アップ事業として隅田川花
守さん支援、河川ボランティア
助成、フォトコンテスト等の
ほか、水辺利用促進・PR として
隅田川等の水辺の魅力発信
(HP・Twitter、隅田川リバー
ラン&ウォークマップ等)を行
っており、収益事業として水
辺駐車場の管

理運営も行っています。

さらに、隅田川等の水上バス（水辺ライン）事業では、建造後 27 年経過した 3 隻の船舶（建設局所有、防災船として位置づけ）の新造船が進まないことに加え、今年の 2 月から河川部の両国リバーセンター事業に伴い、拠点としていた両国発着場が使えないことが想像していた以上の痛手となり、営業的に大変苦戦しています。オリンピック前に完成する両国リバーセンターに戻るまでの 2 年間、水辺ライン事業が存続していきますよう、収益向上等に向けて頑張ってもらいますので、皆様方からも特段のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



庄司貞夫さん

この度、建設防災ボランティア協会に入会させていただきました庄司貞夫です。よろしくお願い申し上げます。広報担当の林幹生さんから東京都建設同友会総会の会場でお誘いを受け、入会の意思をお伝えし、晴れて東京都第三建設事務所所属のボランティアとして従事することになりました。

私は事務屋で建設局には、平成 17 年 4 月に総務部総務課長として着任して 2 年間勤務し、その間、岩永局長、依田局長、柿塚道路監、道家道路監とご一緒させていただきました。

この原稿を書いている 7 月 9 日は、前日までの西日本を中心とした豪雨被害で死者 105 人、行方不明 87 人と未曾有の大規模災害が発生した時期であり、もし仮に東京都内に同様の豪雨による浸水被害が発生した場合を想定すると生半端な気持ちでボランティアに従事できないことを痛感しております。

ボランティアの先輩たちのご迷惑をおかけしないよう足手まといにならないよう気を引き締めてまいりたいと決意を新たにいたしております。

東京都第三建設事務所所属ボランティアの皆様よろしくお願い申し上げます。

協会からのお知らせ

- ① 施設見学会は、11 月 9 日(金)午後に、北北建の「黒目川黒目橋調節池」と「柳瀬川金山調節池」を予定しています。奮ってご参加ください。
- ② 「隅田川著名橋等ツアー」の研修会を 11 月 28 日(水)、道路整備保全公社 20F 会議室で予定しています。奮ってご参加ください。
- ③ 各班の活動報告をお待ちします。ぜひ下記編集担当理事又は林まで連絡願います。林アドレス(mikio.hayashi@okumuragumi.jp)
- ④ 協会の H. P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板)に、最新の情報、バックナンバー、建設局報などが載っています。ぜひご覧ください。アドレス(<http://tokyo-adv.info/>)

編集後記

最近、編集担当としても執筆者と記事の内容が固定化しているなどの印象がありました。総会でのご質問もあり、今年度はいろいろ工夫しようと思います。皆様へのお願いも増えるかと思いますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

発行人 杉浦 浩

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 佐野正生、高橋紀男、林幹生、堀内康彦、丸岡敏夫

